

報道関係各位

2018年6月7日

モリタ環境テック**縦型破砕機「バリクラッシャー™」と爆発抑制装置「ハイパーガード™」を開発**

株式会社モリタホールディングス

当社の連結子会社である株式会社モリタ環境テック(本社:千葉、代表取締役社長:中野中経)は、小型雑品スクラップや小型家電等向けの縦型破砕機「バリクラッシャー™」とシュレツダ内の爆発を抑制する爆発抑制装置「ハイパーガード™」を開発しました。今期より販売を開始いたします。

「バリクラッシャー™」は、給湯器・小型モータ・小型トランスなどの小型雑品スクラップや、パソコン・プリンタ・炊飯器・電子レンジなどの小型家電を粉砕し、今まで処理困難だったスクラップから、鉄・銅・アルミ・プラスチックなどの資源回収を目的として開発した高速回転型の縦型破砕機です。なお、チョークリング形状を改良したことにより、処理物の粒度調整も容易です。さらに、インバータによる破砕ロータの回転制御により、処理物に合わせた破砕が可能となりました。また、破砕機本体と電動機をユニット化したことで省スペースでの設置が可能です。



縦型破砕機「バリクラッシャー™」

■ 諸元

外形寸法:全幅 2,450mm×奥行 1,450mm×全高 2,300mm

投入口サイズ:全幅 800mm×全高 1,300mm

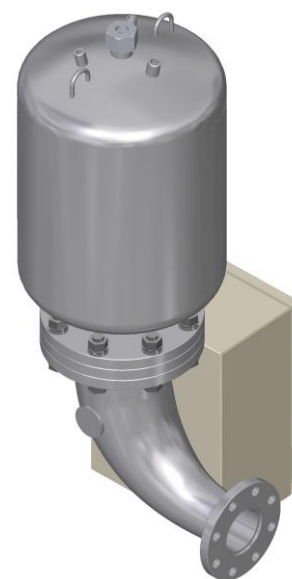
処理能力:1t/h

ロータ回転数:410/rpm

電動機:75kw

モリタ環境テックでは、スクラップ処理プラントメーカーとして培った経験を活かし、処理物に合わせた有価物回収ラインの提案・設計・施工を行っています。さらに、工場内(千葉県船橋市)にデモ機を設置し、お客様のご要望に応じた破砕サンプルテストも随時行っています。

「ハイパーガード™」は、シュレツダ内で生じた爆発を抑制する装置です。具体的にはシュレツダに紛れ込んだボンベ(可燃性ガス)をはじめ、油類、塗料類、金属粉に起因した爆発に至る微小圧力を瞬時に検知する機構と、当社独自の消火薬剤高速放射機構を兼ね備えたこれまでにない爆発抑制装置であり、シュレツダ内部と集じん装置及び集じんダクトの被害を低減します。また、ハイパーガード™はこれまでの爆発抑制装置の課題(使用後には、消火薬剤容器の取り換えと消火薬剤の詰め替えが専門の工場で実施する必要あり)を解決し、消火薬剤の詰め替えが設置現場ですみやかに実施することができ、かつ、容器弁の繰り返し使用も可能としましたので、シュレツダの停止期間(操業停止期間)を大幅短縮することができ、ランニングコストの低減化を実現しました。



爆発抑制装置「ハイパーガード™」

ハイパーガード™は、当社製シュレツダだけでなく、他社製シュレツダにも取付けが可能です(仕様によっては取付けができない場合もあります)。

■ 諸元

外形寸法:全幅 460mm×奥行 470mm×全高 1,070mm

■ 爆発抑制装置「ハイパーガード™」の特徴

- ・爆発時圧力を瞬時に検知し、消火剤を高速で放射、素早く爆発を抑制し被害を最小限にします
- ・当社独自の高速開放機構の採用
 - ◎消火剤の詰め替えが現地で可能なため、シュレツダの停止期間が大幅短縮
 - ◎繰り返し使用できるため低ランニングコストを実現
- ・制御ユニットにより、爆発発生時にシュレツダの緊急停止が可能になり、二次被害を軽減

本件に関するお問合せ先

株式会社モリタホールディングス 広報室 担当:浦野 TEL:03-5777-5088

E-mail:Hiroko.Urano@morita119.com